

令和4年度

発災時犠牲者“0”を地域で 目指す

事業名

にきぶ防災計画

組織名

にきぶ地域づくり会



01 事業の背景

南海トラフ巨大地震の発生に備え、地域の安心・安全な地域づくりのため、緊急避難場所への設備投資の他、地域防災計画・防災マップの作成と、津波に対する避難訓練を実施し、防災をとおして地域の活性化を図る。

また、避難所マニュアルを作成し、通常の避難訓練と避難所の運営訓練などを通じて、地域防災力の向上を目指す。

02 事業の概要

役員で模擬避難訓練を実施し「にきぶ地域防災計画・防災マップ」を作成する。作成した防災計画・防災マップをもとに避難訓練を実施する。また、地区民で避難所運営を実施。避難所に関わるルール作りに取り組むとともに、避難所運営（1泊2日）を実施し、避難所運営に関わるルール作りや、地区防災リーダーの育成強化に取り組む。高知県黒潮町への視察研修。

03 事業の目標

安全な避難についての話し合いや、避難所運営に関わるルール作りを通して、地区民の防災に関する知識を深めるとともに、防災意識の向上を図る。そして、「地域としての防災力向上」と「防災時犠牲者 0（ゼロ）」および、「発災後のスムーズな避難所の運営」を目指し、非常時に備える。



04 事業の成果

女性向けの防災講座を開催することにより、女性の避難訓練参加者が増加。住民の防災意識が飛躍的に向上した。防災マップ・地区防災計画の作成では、地域住民からのいろいろな意見を参考に、地域住民のための防災マップが作成された。避難道や避難所に必要な備品の整備、防災士資格（2名）取得もできた。



05 こんなこと学びました！

食物栄養学科で学ぶ学生や、若い大学生との協働開発、取組を通じて、これまでにない調理方法や固定観念に捉われない発想に出会う事ができた。

06 今後の展望

今後は、避難訓練も難易度をあげ、色々な条件を想定しながら実施していく。避難所における、女性、高齢者、障がい者、子供の意見を集約しきれていない。避難訓練への参加への呼びかけ、こういった事が避難所に求められているのか、意見を集約して、その解決方法を地域で話し合っていかなければならない。

07 最後にひとこと！

避難訓練を重ねる毎に、少しずつ参加者が増え、住民の防災に対する意識が高まっている。しかし“犠牲者0”の目標にはまだまだ遠い。「避難訓練は、自分のため」という意識が高まるよう、訓練を継続・工夫していきたい。



事業費の内訳

総事業費

1,093,809円

歳入	費用	金額	備考
	交付金	793,809	
	補助金	300,000	
	合計	1,093,809	

歳出	費用	金額	備考
	報償費	8,000	
	消耗品費	322,607	
	印刷製本費	135,410	
	原材料費	60,192	
	備品購入費	567,600	
	合計	1,093,809	